

鳴鼓小学校 学校だより 第1号

令和4年4月13日 文責：校長 今井大輔



# かがやき

かんがえる  
かんばさる  
かぎさえる  
かぎさえる

## 令和四年度スタート



春休みのとても晴れた日に鳴鼓小学校の下を通りかかると、桜が見事に満開でした。美しい桜を撮ろうと思い、スマホを向けると桜が咲き誇る中に、ランドセルを持った親子の姿が……。桜が散る前に入学記念の写真を撮っていたのでしょうか。私も二十年程前に我が子とこの坂で同じようにして写真を撮ったことを鮮明に思い出しながら、ほっこりとした気持ちになりました。

それと同時に、保護者や親戚の皆さん、地域の方々の子供たちへの思いや願いを想像して、鳴鼓小の校長としての責任を感じ、気の引き締まる思いでした。

令和四年度が始まりました。入学、進学おめでとうございます。村井宏之校長先生の後任で、鳴鼓小学校校長として着任いたしました今井大輔です。どうぞ、よろしくお願いいたします。子供たち一人一人を輝かせることができよう、職員一同一丸となって取り組んでいきたいと思います。

## かがやき 鳴鼓っ子

新しい仲間、新しい担任とのスタートとなる始業式で次のような話をしました。

前略「みなさんは一年後は、修了式、6年生は卒業式を迎えます。その年に校長先生は、全員に「この一年間とても楽しかった」と思ってほしいのです。そのためにこれから話す四つのことをがんばってほしいです。

一つ目は、「やさしく」することです。これは、誰に対してもです。隣に座っている人。遠くにも座っている同じクラスの人。隣の学級の人。他の学年の人。隣の学年の人に少し話しかけよう。やさしい言葉かけをしましょう。

二つ目は「かんがえる」ことです。自分が何かをする時に「どうかな」「これでいいかな」「こういう時で遊ぶのも、まずは、自分自身で考えたいです。そして、動いたり、友達や先生にたずねるといいですね。

三つ目は「きたえる」ことです。勉強やスポーツなど、いろいろなことができるようになります。いろいろな思いは誰にもあることですよ。でも、最初からなんでもできる人はいません。メジャーリーグの大谷翔平選手やNBAの村上塁選手などの有名スポーツ選手も、クイズ王の伊沢さんも自分自身で目標をもったいたからです。ぜひ、今の力を高めたため心や体をきたえてほしいです。

最後は、「がんばる」ことです。そんなの当たり前だと思いかもありません。しかし、「やる気」「根気」でがんばることこそ、一番大事なのです。あきらめないことです。挑戦してみることを。ぜひ、これと決めたことをがんばってみよう。

## じぶやき

この四つの言葉を入れ替えると・「かがやき」になります。これら一人が光り輝くことができると思われます。

みなさんは、かがやき鳴鼓っ子です。一年間、前を向いて進んでいきましよう！

リモシーの画面越しではありますが、以上のように私の思いを語りました。一年後に、誰もが「最高の一年」と言えるようにこれから学校生活を送らせたいと思っています。

入学式で六年生代表児童の小谷穂乃華さんと大槻来莉愛さんが、鳴鼓小学校へお祝いの言葉を述べました。

前略「鳴鼓小学校は、「元気が出る学校」です。勉強したり、遊んだりしているうちに、たくさん笑顔になります。みなさんでもたくさん勉強したり、遊んだりしてください。元気な鳴鼓っ子に成長してください。ここには私たちが来ていないけれど、みなさんには、お世話をしてください。お兄さんやお姉さんがいます。みなさんにお会いしたいです。早く仲良くなりましょうね。何かでも聞かせてください。あれば、何年も聞かせてください。たくさん楽しい思い出をつくります。鳴鼓小学校で、たくさん笑って、たくさん生きてほしいです。六年生としての優しさ頑張ろう。今年生も保護者のみなさんも安心してたことでしょうか。



冒頭で触れた鳴鼓小学校の坂にある桜。通称「鳴鼓坂の桜」の美しさは、時津町民なら知っている人も多い。他にも鳴北坂や日並の旧道から子々川の沿道など桜の有名所はたくさんある。しかし、私は、鳴鼓坂の桜が一番好きである。鳴鼓小体育館前から、満開の桜を上から見下ろし、その先の大村湾を眺めるのは最高である。

以前、鳴鼓小の体育館で小学生バレーボールを指導していた頃に、この景色を見ながら季節が変わりゆくのをいつも楽しんでいました。

今年の桜の見頃は過ぎてしまい、残念ながら見損ねてしまったので、来年の春には、またあの素晴らしい眺めを味わいたいと思う。ぜひ、機会があれば、見たことのない人には味わっていただきたい景色である。鳴鼓小の子供たちは、何気なく見ている景色であるが、初めて訪れた人から、その景色に感動する声がよく聞かれる。きっと子供たちの景色を思い出すに違いない。